

# 1 言葉の単位

## 1-3 練習問題

1 次の文章はいくつの文からできているか。その数を書きなさい。

山路を登りながらこう考えた知に働けば角が立つ情に棹させばながされる意地を通せば窮屈だとかく人の世は住みにくい

2 番号を付けた文を並び替え、文脈が正しく通るように、その順序を書きなさい。

A ①また、飲み水としても、井戸を掘って地下水をくみ上げるよりもずっと前から、川の水は利用されていた。②やがて、大きな町に人口が集中するにつれ、水の需要も増し、川の水を取り入れるための大規模な上水道が創られ始めた。③二千年も前から水田を耕作していた日本では、人々は、川から農業用水を取ることによって水田をうるおしていた。④明治時代になると、流力のかで電気を起こす水力発電がおこなわれるようになったし、工業の発達とともに、川の水は工業用水としても重要な役割を占めることになった。

[→→→]

B ①人間にとって、川は、飲み水をはじめ生活に必要な水の供給源であったし、物質を運ぶための重要な交通路でもあった。②人間は、昔から様々な方法で川を利用し、川に頼って生きてきた。③こうした川の恵みを存分に受けながら、人類は繁栄への道を歩み始めたのだといっている。④古代文明の発祥地も黄河やナイル川のような大河の流域である。⑤また、雨期になれば、上流からよく肥えた土を運んできて、農業の発展を促すことになった。

[→→→→→]